「新しい価値の創造を目指して」

学校長　久保英二（本校９期）

本年度、Think Globally　Act Locally（国際的な視野を持って、地域で活躍する）、The Main Creator（社会の変化に対応し、支え、その発展に寄与する人材）の二つをキーワードとして資質能力を伸長させる教育活動を展開していきます。

さて、現在、「超少子高齢化」「グローバル化」「AI や IOT 等のデジタル革命」等の進行によって教育のあり方も問われています。そのことに鑑みれば、これからの社会では新しい価値を創造する力が必要であることは明白だと考えています。２０年後、３０年後に激変しているであろう世界の中で、笑顔で活躍している本校の卒業生であってくれることを願って、本校の教育活動を推進します。

生徒もそのことを感じているようです。今年の生徒会のテーマは、「大いなる革新～Think and Act to Realize your Dreams ～」という本校らしいものになりました。

この「革新」のためにも、今年度は、今まで積み上げてきた様々な取組をいかした上で下記のような取組を行っていこうと考えています。

１　「地域貢献チャレンジプロジェクト」（総合的な学習の時間等を活用し主体的・対話的で深い学びの手法を活用し、北九州市のことを「考える」プロジェクト）の推進
（今年は、どうすれば北九州市外国人観光客が増えるか）

２　「文化祭（北雄祭）」の進化
金・土開催から土・日開催への変更、専門高校や地域との連携の強化

３　インターンシップの実施（２年）
中小企業家同友会や中小企業経営者協議会の協力のもと、２年生全員が職業を実体験することによる勤労感、職業観の育成

４　台湾修学旅行の実施（２年）
本県初の台南での交流会や台湾新幹線での移動、日本人技師の活躍地訪問の実施

５　「北九学」の実施
「北九州」に関連する人々を招聘しての講演会の実施（日銀支店長等）

６　「私たちの北九州遺産」の英語版の作成
昨年作成した「私たちの北九州遺産」の英語版作成（台湾の修学旅行の持参品）
北九州市への寄贈を計画中

７　「秋休み」の活用
秋休みの計画を面談担当の職員とともに生徒が「生き方」「働き方」を考える契機とする。また、その時期に合わせた「地方創生研修」（先進的な地方創生活動地域の訪問研修）の実施

教育活動にはどうしても費用がかかります。５０周年の記念事業として「北雄奨学基金」が創設されました。今年度より、７名程度ですが、経済的に支援の必要な家庭に５万円の支援を行うこととなりましたことをここで、報告させていただきます。

私も卒業生として校是である「フロンティアスピリット」の気持ちを忘れずに、全力で取り組んでまいります。今後ともどうぞご皆様方の温かいご支援、ご協力を心からお願いしまして、校長挨拶といたします。